

# KATHMANDU SYMPOSIA ON ADVANCED MATERIALS (KaSAM-2012)

## 出張報告書

作成日：2012/6/21

文責：同志社大学大学院

工学研究科 機械工学専攻

構造工学研究室 M2 河合 江美

学会名：KATHMANDU SYMPOSIA ON ADVANCED MATERIALS (KaSAM-2012)

主催：Nepal Polymer Institute

開催期間：May 9-12, 2012

開催場所：Kathmandu, Nepal

研究題目と発表者：Improvement of fatigue property of carbon fiber reinforced plastics enhanced with nano-sized synthetic polymer fibers

Emi Kawai, Kazuya Okubo, Toru Fujii

同道者：Toru Fujii

発表形式：Oral (15minutes)

学会 HP: <http://www.nepalpolymer.org/>

私は2012年5月9日～12日にネパールのカトマンズで開催された、ネパールポリマー学会主催の“KATHAMANDU SYMPOSIA ON ADVANCED MATERIALS (KaSAM-2012)”に参加しました。下記にその詳細を記します。

《関西国際空港からトリブバン国際空港（ネパール）へ移動（出国）》

5月9日午後に関西国際空港を出発し、中国の広州を経由してネパールの首都カトマンズのトリブバン国際空港に到着しました。トリブバン国際空港に到着したときは既に23時を回っていました。街灯が少ないので薄暗くて学会会場兼滞在ホテルまでたどり着けるか、少々不安でしたが学会のスタッフの方々が迎えに来てくれたので無事目的地までたどり着くことができました。

《KaSAM-2012に参加》

この国際学会はポリマーの分子構造と特性の関係性に関する研究を中心に、合成繊維・天然繊維に関する研究が数多く発表されていました。これら研究発表を聴講するとともに、私自身も5月12日に、微細 polymer 繊維の添加による炭素繊維強化プラスチックの疲労特性の改善について発表致しました。発表終了後、どのように初期き裂を設けたかという質問を受けました。質問に対しては問題なく答えることができました。しかしこれ以外の質問を受けず、私の研究に対して、聴衆にあまり興味を持ってもらえないように感じました。一方、インドやネパールの学生の発表では白熱した議論が交わされていました。彼らは、研究分野が異なる人にも興味を持ってもらえるよう、発表スライドに工夫を凝らし、ま

たジェスチャーを交えながら発表していました。彼らの発表を聞くと同時に、自分の研究発表の仕方の未熟さを痛感しました。

同道された藤井先生も5月12日に、竹繊維を利用した天然複合材料について発表されました。非常に多くの方が藤井先生のご講演を公聴され、藤井先生の発表終了後、数多くの質問が飛び交いました。複合材料への天然材料の利用に対する関心がとても高まっていると感じました。

#### 《学会参加者との交流》

学会期間中、様々な国の学生と交流を深めることができました。5月10日・11日とストライキが起こったため彼らと外出することはできませんでした。学会開催期間中、研究の話や自分の国の文化の話などで盛り上がり、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

#### 《トリブバン国際空港から関西国際空港へ移動（帰国）》

ホテルからトリブバン国際空港までの移動の際、運転手の方の計らいで車内からカトマンズを観光することができました。ネパールでの人々の生活を直接見ることができ、素晴らしい思い出となりました。

お土産は、トリブバン国際空港で購入しました。食料品売り場に六甲山バターで作られたクッキーが販売されており大変驚きました。23時にトリブバン国際空港を出立し中国広州に朝5時ごろ到着しました。夜中のフライトでしたが機内食が用意されていました。メニューの種類も豊富で、ビーフとフィッシュ以外に野菜や鶏中心のメニューもありました。関西国際空港へは13時ごろに到着し、帰宅しました。ネパールとの時差も3時間程なので時差ボケもなく快適でした。

最後になりましたが、このような素晴らしい機会を与えてくださった藤井先生、大窪先生および当研究室の皆様に深く感謝いたします。



Fig.1 発表会場



Fig.2 発表中の私



Fig.3 藤井先生のご講演



Fig.4 ホテル周辺



Fig.5 カトマンズ市内 (タクシーの中から撮影)



Fig.6 売店 (トリブバン国際空港)